

(3) 研究内容

- 研究テーマにせまるための指導案作成と授業実践。
- 書くことにつながる音声活動の検討と実践。
- 小中連携を意識した活動の展開を検討する。
- 小学校英語科について学ぶ。

(4) 研究組織および部員

- 助言者 廣瀬 芳樹（笛川中学校校長）
- 部長 瀧本美由紀（勝沼中学校）
- 副部長 平井 成二（山梨南中学校） 飯室 林（日下部小学校）
- 部員 三枝 朋佳（塩山中学校） 水上 かおり（塩山中学校）
益田 宗士（塩山中学校） 廣瀬美樹（塩山中学校）
河野 美春（塩山北中学校） 柏原 一仁（大和中学校）
古屋浩紀（山梨南中学校） 大村 隆（山梨南中学校）
堀内翔子（勝沼中学校） 加藤 紀子（松里中学校）
古屋友香（松里中学校） 秋山悦子（山梨北中学校）
利根川 紫野（山梨北中学校） 廣瀬 剛（山梨北中学校）
井口 飛鳥（笛川中学校） 丸山正史（笛川中学校）
木下里江子（奥野田小学校） ポーター・ローレン（大藤小学校）
小宮山 公仁（塩山北小学校） 渡邊 皓（塩山北小学校）
藤木 真里佳（日下部小学校） 小池 美樹（笛川小学校）
三枝英太郎（塩山南小学校）

第2学年英語科指導案

指導者: 益田 宗士

ALT: ケイトリン・スミス

1. 単元名 NEW HORIZON English Course 2 (東京書籍) Unit 3 Career Day

2. 単元について

(1) 教材観

本単元は、レストランでの職業体験に際しての注意の読み取りから、体験の感想についての対話、新聞社での体験レポートの読み取りなどが扱われる教材である。職業体験は多くの学校で実施されており、生徒にとって身近である。

また、中学2年のこの時期は、漠然とした夢から自分の将来の職業について具体的に考え始める時期でもある。本単元の登場人物が体験の感想を述べたり、レポートにまとめたりしているものを読んで内容を理解させ、生徒にも考える契機としたい。

(2) 指導観

本単元では、不定詞3つの用法が出てくるが、単文で用法を分類させることは避け、文脈の中で意味を理解させながら、自然に習得させたい。言語活動面では特に、want to ...の表現を用いて自分の夢を述べさせる活動を積極的に行いたい。その際、自分の夢や希望などを述べやすくするために Bonus Word Box の英語を活用したり、like to ...の表現を使って、なりたい職業につながる好きなことを表現したりすることで、その仕事をする目的を述べることに繋げたい。

(3) 単元目標

- ①何かをする目的を述べることができる。 / 夢や希望などについて述べるができる。 / 情報をつけ足して説明することができる。
- ②自分の行きたい場所やしたいことについて、たずねたり伝えたりすることができる。

(4) 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力	ウ. 外国語理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ①友達の将来の夢について関心を持ち、積極的に話をしている。 ②相手が行きたい国について、積極的に質問している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①何かをする目的を述べることができる。 ②将来つきたい職業について述べるができる。 ③行きたい国やそこでしたいことについてインタビューをし、聞いた情報をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①注意書きの内容を読み取ったり、行動の目的を聞き取ったりすることができる。 ②職場体験のレポートを読んで、その内容を理解できる。 ③仕事についてのインタビューを聞いて、概要を聞き取れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①不定詞の目的を表す副詞的用法の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 ②不定詞の名詞的用法の形・意味・用法に関する知識を身につけている。 ③不定詞の形容詞的用法の形・意味・用法に関する知識を身につけている。

3. 単元の指導計画

時間	○ねらい ・ 学習活動	単元の評価基準
1	<p>○Unit3 の大まかな内容理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル教科書のピクチャーカードを用いてオーラル・イントロダクションを行う。 <p>○Unit3 part1 の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の導入、単語の発音練習や意味理解を行う。 	イ-①
2	<p>○Unit3 part1 の内容理解・音読</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容理解や音読練習を行う。 <p>○文法事項の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 副詞的用法の不定詞の導入を行う。 <p>○文法事項の理解・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを用いて問題演習をする。 	ウ-① エ-①
3	<p>○文法事項の導入・理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 名詞的用法の不定詞の導入を行う。 ・ 形容詞的用法の不定詞の導入を行う。 ・ ワークシートを用いて問題演習をする。 <p>○職業の名前を学習する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲーム形式で職業の名前を英語で理解する。 	エ-②、③
4 本時	<p>○自分の将来の夢について英語で表現することができる。</p> <p>○文法事項の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の夢について、特定の人物のものを聞き、誰かを当てる。 ・ グループでお互いの将来の夢について伝え合う。 	ア-① イ-② エ-②
5	<p>○将来の夢についての英文を書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の学習を活かし、自分の将来の夢について英語で書く。 <p>○Unit3 part2 の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の導入、単語の発音練習や意味理解を行う。 	イ-②
6	<p>○Unit3 part2 の内容理解・音読</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容理解や音読練習を行う。 ・ 文法事項に関するワークシートで問題演習を行う。 <p>○Unit3 part3 の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の導入、単語の発音練習や意味理解を行う。 <p>○Unit3 part3 の内容理解・音読</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容理解や音読練習を行う。 	ウ-① ウ-②
7	<p>○Unit3 part3 の内容理解・音読</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文法事項に関するワークシートで問題演習を行う。 <p>○Unit3 part4 の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の導入、単語の発音練習や意味理解を行う。 <p>○Unit3 part4 の内容理解・音読</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容理解や音読練習を行う。 	ウ-③

8	○Unit 3 のまとめ ・本文の内容をピクチャーカードで確認。 ○文法事項のまとめ ・不定詞の3つの用法を確認し、ワークシートで問題演習を行う。	エ-①、②、③ ウ-①、②、③
9	○Unit3 part5 でのリスニング活動 ・本単元で学習した表現が用いられているリスニング問題に取り組む。 ○Unit3 part5 でのペア活動 ・自分が行きたい国について、その理由や目的なども含めてペアでの会話をを行う。	ア-② イ-③

4. 生徒の実態

(1) 生活面について

男子 16 名、女子 15 名、計 31 名の学級である。男女ともに基本的には誰とでも話をしているが、小グループに固まるときもある。生徒たちは全体的にあいさつや返事の声も大きく、元気に生活している。係活動や掃除の時間などにおいては、リーダーの生徒たちが声掛けをする場面も見られ、自主的な行動をする生徒も何人かいる。しかし、教師からの問いかけに対して、周囲の様子を見てしまい、反応ができないことがある。また、リーダー以外の生徒は周りの声掛けがあってから行動することが多く、課題となっている。より親和的な雰囲気をつくるために、エンカウンター要素を含む活動を取り入れるなどして、生徒同士が関わり合う機会を増やしていきたい。

(2) 学習面について

本文や文法の導入に対して説明を理解しようとし、問題演習や活動を行うと進んで取り組んでいる。分からないところがあればクラスの仲間や教師に聞くなど、授業に前向きに取り組んでいる姿勢が見られる。

一方、県の学力把握調査によると、「会話文の内容を理解した上で、自分の意思や考えを正しく相手に伝えることができる」という読むこと・書くことの両方の領域を含む問題において正答率が低かった。その原因として、単語の読みやスペル、その語の意味や使い方が分からないことから文章の内容を十分に理解できず、適切な解答ができなかったことが挙げられる。これらの対策として、授業中に英単語を導入するときにフラッシュカードやデジタル教材を用いて繰り返し読む練習を行っている。また、単語練習シートを用いて、授業中、あるいは家庭学習時に英単語を書く練習をさせている。

5. 教協研究との関わり

今年度の研究主題は「意欲的に英語学習に取り組む児童・生徒の育成～書くことにつながる音声活動を通して～」である。小学校では 2020 年の新学習指導要領において、外国語活動から英語科への教科化が施行され、アルファベットや学習した英語を「書くこと」に取り組んでいく。また、今回の学習項目の中にある“want to～”においては、小学校 6 年生時に“What do you want to be?”という、将来就きたい職業について取り扱う単元で、生徒たちはすでに学習している。中学校においても、それらの知識を備えた生徒に対する学習指導をしていくことが必要となる。

本時の授業では、「自分の将来の夢」というテーマに沿って、適切な英語を使って英文を書くことにつなげられるような音声活動を行う。まず、本単元の学習項目である「不定詞の名詞的用法」の表現を含む文章を、ゲーム的要素を含む活動の中で聞かせる。ここでは“want to ～”や“like to ～”などの英語に、音声を聞き取ることで生徒の意識を傾けさせたい。次に、“I want to be ～.” “I

like to ～.” “I need to ～.” を用いて、ワークシートに書かれた英語を当てはめながらパターン・プラクティス方式で練習を行う。不定詞の名詞的用法の形に焦点を当て、それにあてはめながらどのように英語を用いるのかを理解させたい。最後に、自分のなりたい職業について、これまでに学習した表現を使って文章をつくり相手に伝える「職業インタビュー」を行う。英文を書く段階へスムーズに移ることができればと考え、コミュニケーション活動を設定した。

6. 本時の学習

- (1) 日時 平成 30 年 8 月 29 日 (水) 14:00
- (2) 場所 塩山中学校 2 年 3 組
- (3) ねらい 自分の将来の夢について英語で表現することができる。
- (4) 展開

時間	学習内容	生徒の活動	指導上の留意点	評価基準
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・Straight or Cross (不定詞の副詞的・名詞的用法を含んだ Q&A 活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示された生徒だけでなく、そうでない生徒もどう応答するのかを考えるよう、声かけをする。 	
展開 (40分)	<ul style="list-style-type: none"> ・Guess Who Quiz(10) (将来の夢についてのモデル文を聞き、人物を当てる) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: What do you want to be in the future? B: I want to be (a teacher). A: What do you like to do? B: I like to (study math). A: What do you need to do to be (a teacher)? B: I need to (study hard). A: Alright, thank you very much. B: No problem.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・めあての提示 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分の将来の夢について英語で表現することができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・Review(5) モデル文で把握した不定詞の名詞的用法に焦点を当て、意味や使い方を復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の先生 3 人が中学生の時に考えていた将来の夢についての文章を聞く。 ・聞いた文章をもとに、どの先生の夢なのかを、ペアで考えて答える。 ・めあてをデザインシートに記入する。 ・提示された資料を見て、不定詞の名詞的用法の復習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT と役割を決めて会話をする形でモデル・リーディングを行う。 ・黒板に資料を提示する。 	ア-①

- want to 動詞の原形
「～したい」
- like to 動詞の原形
「～することが好きだ」
- need to 動詞の原形
「～することが必要だ」

• Exercise(10)
ワークシートに書かれた形に沿
い、Examples の英語を用いてパ
ターン・プラクティスを行う。
1 回目：リピート
2 回目：Q&A 形式

T: What do you want to be?
S: I want to be _____.
T: What do you like to do?
S: I like to _____.
T: What do you need to do?
S: I need to _____.

• Activity : 職業インタビュー(15)
ワークシートに自分がなりたい職
業、自分が好きなこと、その職業
に就くために必要なことを書き入
れる。
ペアで質問する人と答える人でわ
かれ、ワークシートに記入したこ
とを交互に聞き合う。

A: What do you want to be in the
future?
B: I want to be _____.
A: What do you like to do?
B: I like to _____.
A: What do you need to do to be
_____?
B: I need to _____.

生徒の中から質問する人と答える
人を3 人ずつ選び、発表させる。

• 教師からの問いに対
して、映像を見ながら
発話練習を行う。

• リズムを意識して練
習を行う。

• ワークシートに自分
がなりたい職業、自分
が好きなこと、その職
業に就くために必要な
ことを記入する。

• 隣の人とペアになり、
ワークシートに記入し
たことを質問し合う。

• 選ばれた生徒は前に
出て、インタビューを
行う。

• ワークシートの
Examples にある絵
と英語を映像で提示
する。

• 机間巡視・指導を
行い、ねらいにそっ
て文がつくれている
かを把握する。

• 机間巡視・指導を
行い、活動に参加し
ていない生徒がい
ないか確認する。

• 話を聞くときは体と
顔を向けさせる。

エ-②

ア-①
イ-②

終末 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめを行う。 ・次回の授業で、自分の将来の夢について、英文で書くことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインシートにキーワードを記入する。 ・教科書46ページを確認する。 	その際、評価について説明を行い、モデル文の提示を行う。	
	I want to be a teacher. I have two reasons. First, I like to study math, science, and English. Second, I like to teach my brother. I need to study hard to be a good teacher. Thank you.			

7. 評価について

下記のルーブリックは、次回の授業で扱う将来の夢の英作文において、どの程度達成できているのかを確認するものである。

	A	B	支援が必要な生徒に対する手立て
語彙数	30語以上の英文を書く。	25語以上の英文を書く。	英文を書く際に辞書を利用させることで、書くことへの抵抗を減らすことができる。
文法	不定詞の用法を2種類以上使って英文を書く。	不定詞の用法の中から1種類以上使って英文を書く。	モデル文の中で使われている不定詞の箇所を注目し、英文を書くときに意識させる。

8. 授業者の振り返り

- ・授業開始のあいさつから帯活動の Straight or Cross にかけて活発に行うことができ、生徒が授業に頑張っている様子が見られ、参加しようとしている気持ちが伝わってきた。

- ・ Guess Who Quiz では生徒が model reading や映像を見ながら英語を理解しようとしていた。ALTとの会話の中に含まれていた target grammar を聞き取ろうとする姿勢が見られ、クイズにも聞き取った情報をもとに答えようとしていた。

- ・ Guess Who Quiz では担任の先生が中学生だったときの夢や好きなことなどを題材にしていた。その設定を生徒に伝えきれず、内容の妥当性を欠いてしまった。model reader が中学時代の先生になりきったり、設定に沿った映像をつくったりすることで、生徒にとってより親しみやすい活動になると考える。

- ・ target grammar を確認する際、板書で提示した紙が小さかった。キーワードにつながるものなので映像等で大きく提示するべきだった。

- ・ Exercise では music chants を用いながら、リズムに乗って発音練習を行った。始めは少し戸惑っていた様子だったが、リズムに慣れるにつれ生徒にも笑顔が見られ、だんだんと声が大きくなっていった。

- ・ 職業インタビューの前にワークシートに記入するとき、「ワークシートの中から職業を選ぶこと」と生徒に指示を出したため、本当に自分のなりたい職業を書きたかったのに書けない生徒がいた。「書くこと」に対するモチベーションへのつながりを切ってしまったように感じ、生徒がポジティブに活動に取り組める発問や指示を考えておくべきだったと感じた。

- ・ 授業の中で ALT を利用するタイミングを Guess Who Quiz の時しか設定しておらず、登場する機会が少なかった。ALT と共同で行っている授業であることを意識して、利用したい部分をあらかじめ準備しておくことが重要であることを再確認した。

9. 研究授業の振り返り学習会より

① 書くことにつながる音声活動について

○繰り返し練習をするが、場面を変えて飽きさせないような工夫があった。書く際に、選択肢を見て「この中はない。」という生徒がいたり、オリジナルの英文を書いている生徒もいたりしたことから、書きたいという意欲につながるよい授業だった。

○“like to”, “need to” など本時の学習内容がふんだんに使われていて、めあてに対する働きかけができていた。

△Guess who quiz ではダイアログ形式ではなく、英作文することを意識した文章の形式でモデル文を提示した方がよかったと思う。

② 教材・教具の工夫

○Guess who quiz では担任の先生方についての話題を提示し、写真も答えの際に見せたことで笑顔が見られた。身近な人を使うことは有効だと思う。

○チャンツが良かった。生徒は小学校でチャンツをやっている。生徒にも笑顔が見られた。だんだんと発音する声も大きくなってきて有効だったと考えられる。

△終末の時間にデザインシート（自己評価）に書くキーワードが見えづらかったため、拡大したり映像で示したりするといよかったと思った。

③ 教師の発問について

○生徒の分からないような様子を見ながら、必要な所はもう一度英語やジェスチャーで伝えたり、日本語を付け加えたりして良かった。

△ほぼ All English の授業は聞く力を高めるために良いと思ったが、モデル文や例を事前に細かく設定しておくことによって、生徒がより理解しやすくなったと感じた。

△“OK?”と生徒に聞くことが多かった。どれだけの生徒が本当に分かっていたのか見取りづらかったので、「何が分かったか」生徒に出させていけると教師側の説明をシンプルにできると思った。

△全体一斉の発問がほとんどだったため、個に対する発問があると良かったと思う。

④ 生徒の様子

○英語の指示をよく注意して聞いていた。

○積極的に話し合いをしている姿がとても良かった。

△アイ・コンタクトを意識させることができれば、インタビュー活動として質が深まると感じた。

△デザインシート（自己評価）において、過去の自己評価をしていない生徒がいた。またコメントやハンコもなかったので、一人ひとりの生徒にフィードバックを与えることが必要であり、それが意欲につながると思う。

⑤ その他

△ALT の登場頻度が少なかったため、チャンツやインタビュー活動のモデルとしてもっと利用した方が良かった。

△小学校で学ぶ内容や教材について理解を深め、それらを活かし発展させていく必要があると感じた。

10.5 時間目の授業の様子

教科書の Presentation1 の内容に沿って、第5 時やそれまでの授業で学習した英語を用いた英作文を書く活動を行った。既習事項である不定詞の3 つの用法を使い、さらに第5 時で繰り返し練習した“want to~” “like to~” “need to~”の形を用いながら英文を書いていた。第5 時では職業の数に制限があったが、第6 時では自分のなりたい職業を自由に決め、分からない語句は辞書で調べながら進めていった。単文で作った文に“I have ~ reasons.”や“First”、“Second”のような英語を使い、文章としてつながりのある英文をつくることができた生徒も少なくなかった。第5 時で音声としてインプット、またはアウトプットして学習した英語を用いて、第6 時の書く活動につなげられることができたと考える。

11. My Dream 英作文

◎Draft(原稿)◎

文章の構成	英語
①将来就きたい職業	a confectioner
②理由1 興味のあること、趣味	like to make sweets
③理由2 将来したいこと	make sweets which make people happy
④夢の実現のためにしていること	practice make ^{making} sweets
⑤夢の実現のために必要なこと	need ^{to} study about sweets
⑥プラスα(あれば)	

{ ☆Hints ・I'm interested in ~: ~に興味がある ・first: まず ・second: 次に ・so: だから }

◎Your dream◎ Write down at least 5 sentences.

I want to be a confectioner.
I have two reasons. First, I like to make sweets.
Second, I want to make sweets which make people happy.
To be a good confectioner, I study about sweets and practice making sweets.

◎Draft(原稿)◎

文章の構成	英語
①将来就きたい職業	I want to be a doctor.
②理由1 興味のあること、趣味	I'm interested in medical care.
③理由2 将来したいこと	I want to help people.
④夢の実現のためにしていること	I study science and math.
⑤夢の実現のために必要なこと	I need to learn about medical care.
⑥プラスα(あれば)	

{ ☆Hints ・I'm interested in ~: ~に興味がある ・first: まず ・second: 次に ・so: だから }

◎Your dream◎ Write down at least 5 sentences.

I want to be a doctor
First, I'm interested in medical care.
Second, I want to help people.
So, I study science, math and English.
I need to learn about medical care.

Job Interview Worksheet

下の表を参考に①将来なりたい職業、②好きなこと、③その職業に就くために必要なことを書こう。

☆ About myself ☆

① I want to be ().
② I like to ().
③ I need to ().

◎ Examples ◎

<p><u>a singer</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • sing songs • listen to music • practice songs 	<p><u>a teacher</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • study English, science, math... • study hard 	<p><u>a carpenter</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • make something (何か) • learn about buildings 	<p><u>a baker</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • make bread • learn how to (~方法) bake (焼く)
<p><u>a doctor</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • learn about health (健康) • help people 	<p><u>a flight attendant</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • travel • know about airports (空港) 	<p><u>a cook</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • cook • eat • learn how to cook 	<p><u>a vet</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • look after (世話をする) pets • learn about animals
<p><u>a farmer</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • eat vegetables (野菜) • know about vegetables 	<p><u>a police officer</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • help people • save my city • work for people 	<p><u>a hairstylist</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • think about the hairstyle • learn how to cut hair 	<p><u>a fire fighter</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • help people • save people's life • work for people
<p><u>an athlete</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • play sports • practice • be a good player 	<p><u>a cartoonist</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • draw pictures • read comic books a lot 	<p><u>a voice actor</u> □ □ □</p>  <ul style="list-style-type: none"> • watch anime • do the voice training (ボイストレーニング) 	